

企業関係者と弁理士の知財研究会・第4回・実施報告書

平成31年3月29日

保科敏夫・鈴木一徳

平成31年3月28日(木)に行われた、企業関係者と弁理士の知財研究会・第4回について、実施報告をいたします。

実施したクラス

当初の予定どおり、午後3時半～5時のクラスと午後5時半～7時のクラスの2クラスを実施した。内容は同じである。

参加人数

司会・進行の保科及び鈴木を除き、3時半クラス5名、5時半クラス3名。年度末ということもあり、ふだんよりも出席者は少なかった。

参加者の内訳

① 3時半クラス

企業関係者3名(企業内弁理士1名、弁理士以外2名)、特許事務所1名、その他1名
神奈川委員会委員1名、委員以外4名

② 5時半クラス

企業関係者2名(企業内弁理士1名、弁理士以外1名)、特許事務所1名
神奈川委員会委員1名、委員以外2名

テーマ

用途発明

内容

ここ2～3年に発表された用途発明についての論文をベースにして、本や論文で明確に書かれていない点も含め、ディスカッションを行った。

研究会の最初は、

- ① 「～を特徴とする自転車」
- ② 「～を特徴とする甘味料」
- ③ 「～を特徴とするビール」
- ④ 「～を特徴とする殺虫剤」

はそれぞれ、用途発明か否か、ただし「～を特徴とする」の部分は用途ではない、という問題を設定し、ディスカッションを行った。それ以降も、問題を設定してディスカッションを行うというスタイルで進行した。

今後の予定

第5回(2019年度第1回)平成31年5月30日(木)テーマはサポート要件

第6回(2019年度第2回)平成31年7月25日(木)テーマは実施可能要件

第7回(2019年度第3回)平成31年9月26日(木)テーマは明確性要件(予定)

以上